

堺で校長せんせい！

堺市立学校任期付管理職（校長）公募

現職の任期付校長に聞く

堺市の校長になってー

任期付校長として大切にしていることー

堺市では、平成 24 年度から任期付管理職を採用しており、現在、17 人の任期付校長が勤務しています。

公募では、全国各地からさまざまな経歴を有する方に応募いただき、中には「堺市に縁がなかったけれども、堺の教育に興味を持ち応募した。」「”ゆめ”をあきらめ民間企業で働いていたが、この機にチャレンジした。」という人も。

ここでは、令和 7 年 1 月に実施した、現職の任期付校長と令和 7 年度採用者との座談会から、任期付校長として着任した時の様子や、任期付校長として大切にしていることなど、実際の経験談をご紹介します。

（写真左から）

錦小学校

神石小学校

鳳南小学校

長尾中学校

井上校長

森校長

堀本校長

増田校長

任期付校長として着任して約1年が経過して—

井上校長 民間から来て教育現場が初めてだったんですけど、嬉しいことは、こどもに声をかけられることです。本当に嬉しいなと思っています。こどもが声をかけてくれて、「遊ぼう」って言ってくれるだけでもう次の日が元気になるっていうのがモチベーションです。

また、私は高等学校の教員免許しか持っていないので、授業ができない。じゃあ何ができるかな？と考えて、先生の授業にお手伝いとかサポートということで、必ず毎日入るようにしています。そうすると、こどもの様子もそうですが、先生方のメンタルの様子もよく見えてくるんです。やっぱりすごくコミュニケーションが取りやすくなってきているかなと思います。

森校長 私は36年間、神戸市の小学校で教員をしていて、校長で退職しました。退職して1年間、再任用として学校以外のところで勤務していました。そこで、任期付校長の公募に応募して、こちらに来させていただいたんですけど、とても楽しいです。とても充実しています。堺市の先生方は素敵です。地域の方々も温かく迎えてくださいます。教育委員会の方もそうです。困ることはありますが、わからなかったら人に聞きます。その時に頼りになるのは同期の5人です（当日は1人欠席）。この5人に会えたことが一番嬉しいです。

堺に来なかったら会えなかったわけです。全国の会うことができなかった人に会わせていただいたっていうのは、これは大きな幸せですよ。毎日すごく充実しています。大変なことはあります。だけど、それを凌駕するぐらい楽しいなっていうのが実情ですね。

堀本校長 私は和歌山の生まれ、和歌山育ちで和歌山の教員をしてきました。和歌山以外知りませんので、大阪は、堺はどういうまちなんでしょう？そこで出会うこどもたちはどんなこどもたちなんだろう？と不安がいっぱいでしたが、学校でこどもたちに出会った瞬間にその不安はなくなりました。笑顔はどこのこどもたちも一緒だし、それから元気なこどもたちの様子も同じ。ただ違っていたのは、私の気持ちの持ち方だけだったですね。2日目以降、前向きに気持ちを切り替えました。そんな4月でありました。地域の方々も保護者の方々もすごく学校に向いている、教育に熱心で、人に恵まれてここまで来たと思っています。それから若い教職員に囲まれて同じ方向を向いて活動できているっていうところも、幸せの一つだと思います。ともに学校づくりに専念できているということが今の幸せかなと思っています。不安ももちろんありますけど、出会った仲間、同僚の先生方と相談しながら前へ進めているところです。

教育委員会の先生方も私たちに対してすごく丁寧に温かくご指導くださいますので、そこもすごく安心感を持てた

これまでの日々であったと思います。
何か困った時には、温かくお答えいただける、そういった教育委員会の先生方だなというふうに思っています。

増田校長 もともととは尼崎市で中学校の教員をしており、校長も4年間させていただきました。60歳を迎えた時は教育行政の方にいましたので、学校に戻ろうと思い、堺市の試験を受けました。着任後9か月で一回も後悔はしていません。こどもと一緒にいるとか、学校の楽しさとか、学校の空気とか、日に日に私を若くしてくれているのかなと思っています。こどもの感じはすごくよく似ていて、私はすごくホームな感じがしています。同じ学校であっても言葉が違ったり、仕組みが違ったりしますが、それはそれで違いとして楽しんでいます。堺市は30代までの教員が2/3と聞きましたが、この人たちをうまく育てれば、10年後の堺は強いなと思います。ですから、今、先生をこう育てるとか、管理職候補を育てたいとか、そういう思いを持って仕事しているというのもあります。

「もう少し意地悪されるかと思ったんですけど」―着任時の雰囲気

増田校長 外様だから、もう少し意地悪されるかと思ったんですけども、先生方も優しいですし、何より校長会の皆さんも優しくしてくださっていますので安心して、一緒にお勤めできたらなと思います。

井上校長 夏休み前、着任して3か月ぐらい経ち、だんだん仲良くなると、「結局なんで来たんですか？」って言われて。いやいや、こうこうだからだよと。どんな人かというのはやっぱり構えていたっていうのは、後々言われましたね。

教職経験がないとやっぱり最初困ったのは、着任時に教頭から「校務分掌を發表してください。」と言われて、まず校務分掌ってなんだ？っていうものから始まって。入学式があって始業式と。ただそこも全部丁寧に、教頭・教務主任が説明してくれて。不安はありましたけど、どの学校も多分そうだと思います。

「違和感を大切に」―任期付校長として大切にしていること

森校長 違和感は大事にしようと思って
いるんです。違和感って消費期限1年なんです。1年経つと、それが当たり前になるんです。着任して、あれ、おかしいなって思っているけど、それを言葉に出さないまま1年経つと、それが自分の中で当たり前になってしまう。違和感は言葉にするようにしているんです。教頭先生に、「これってどうですか？こう進めたいんですけど、先生、どう思う？」って言った時に、「いや、校長先生、そうおっしゃいますけど、ここは違いますよ」って言われたら、そこは引こうって思いますし、「これどうやろう？」って言った時に、「あ、それいいですね」って言ってくれたら、じゃあこれ行こうかっていう。自分の感覚は大

事にしながら、でも堺のことをよく知っている教頭先生としっかりと連携をとりながらやっていくっていうことは大事かなって思っています。

「神戸市民として涙が出た」

森校長 私、神戸市なんです。今年は阪神・淡路大震災から 30 年。やっぱり防災教育は進めていく必要があると感じていました。本校は、朝会が月 1 回しかないんですが、ある 1 月の職員会議で、「朝会でちょっとだけ時間もらえますか？阪神・淡路大震災の話をこどもたちに少しでも話をさせていただけるとありがたいんですけど」と提案をしたんです。すると先生方から、朝会ではなくて、ちゃんと 1 月 17 日に時間を取りましようと言ってくれたんです。1 月 17 日に、普通金曜日に朝会することなんてないんですけど、全員体育館に集めてくれて、私から話をする機会を作ってもらって。神戸では「しあわせ運べるように」という歌をみんな知っているんですけど、その歌を聞くっていう話をしたら、音楽の先生がいくつかの学年に授業中に聞かせてくれていたみたいで。こどもたちもちゃんと黙祷もしてくれ、私の話を聞いた後、「しあわせ運べるように」を聞きましょうっていうことを言った時に、こどもたちが歌ってくれたんですよ。私、神戸市民として涙出ました。手紙や感想を書ってくれた学年の子もいて、「命は大事にします」とか「困っている人がいたら助けたいです」とか。自分がした経験

はこどもたちには伝えていく必要があるかなと思ったので、そうさせてもらったんです。



「新しい風を」とも言われるがー

堀本校長 堺には、市立小学校のこどもたちが詩・つづり方・図画・習字を掲載している「はとぶえ」があり、バトンが継がれて 70 年というような長い歴史があります。また、連合運動会、連合音楽会もそうです。堺市はとにかくこどもたちに対して褒める機会、認める機会をたくさんとって、自己肯定感とか自尊感情を高め、こどもを大切にする機会を多く作っていると思っています。新しい風を吹かせるっていうような大きなことはなかなかできませんけれども、自分できることをしつつ、しっかり学んでいるところです。

増田校長 新しい風をということも言われているんですが、大きな改革をめざすのではなく、小さな改善を積み重ねていって、年度の終わりにはずいぶん

変わったねってなればいいかなと思っています。堺の市教委が進める政策を一つ一つ、まだ取り組んでいない部分を進めていくよう。こういう考え方あるよねっていうようなことを先生に投げかけたり、主任会、運営委員会、企画委員会で投げかけて考えてもらったりという機会をたくさん作ってきました。

着任に向けて準備しておくこと

井上校長 今、住んでいる地域の話とか、前の仕事とかの話を積極的に先生方にすると、すごく入りやすいと。私はそういうふうにして入り込みました。

堀本校長 4月1日の所信表明は文書にしておいて、きちんと伝えたいなと思っていました。具体的に何を伝えたいかというと、大切にしたいこと、どんな学校にしたいか、どんな学校をつくりたいかというような話でした。最も大切にしたいのは、こどもは保護者からの大事なお預かりものですから、こどもを大切にするということを申し上げました。

それと同時に教職員に対しても、みなさんもお家族からのお預かりものであるということを思って、同じ職場で仲良く元気に働こうっていう話をしたことを思い出します。そういう所信表明というと大げさですけど、話の用意はしていただきたらと思います。

増田校長 堺は大きいので、先ほど外様って言いましたが、知らない人が校長になるのも割と教職員は慣れている感じです。その中でどういう学校にしたいかっていうビジョンはきっちりと示さないといけない。

それからこどもも先生も大切にしていきたいという話を、私はいつも学期始めにします。1学期はこれを、2学期はこれを、3学期はこれを、とペーパーにして、先生方にお渡しできるようにしています。

あとは式辞。4月4日に中学校は入学式なんです。一番の大仕事に着任の3日後にある。中学校に赴任されるとそれが大切かなと思います。

